みやぎ県議会だより

令和３年
６月定例会特集
第139号

編集・発行　宮城県議会企画広報委員会
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL 022(211)3592　FAX 022(211)3598

水道みやぎ 関連議案可決

地元影響や運営手法で議論

第379回宮城県議会（6月定例会）は6月15日から7月5日まで21日間の会期で開かれた。上下水道と工業用水道の運営権を民間に一括設定する「みやぎ型管理運営方式」の関連議案や、約3億3000万円を追加する令和3年度一般会計補正予算など33議案を原案通り可決した。一般質問では、みやぎ型管理運営方式や新型コロナウイルスワクチンの接種、東京電力福島第1原発にたまり続ける放射性物質トリチウムを含む処理水の処分に関する政府の基本方針などで質疑が相次いだ。

みやぎ型の関連議案は、6月定例会最終日の本会議で賛成33、反対18で可決された。

それに先だった一般質問で、議員からは事業を導入する意義や、優先交渉権者となった企業グループの運営手法、地元への影響、県民へのさらなる説明を求める意見が目立った。

「人口減少や節水型社会を迎える中、水道事業は今後、厳しさを増すことが明らかだ」と、導入に理解を示した議員は「今後は民間との連携を進めることが必要になるが、優先交渉権者を選定した理由は」と質問。知事は「検討委員会が審査を行って選定した。現行より高い目標値を設定して水質の向上を図る点のほか、最新のデジタル技術を導入した運転監視システムによる効率的な運営も高く評価されていた」と答えた。

優先交渉権者の企業グループは、運営権の設定先となる特別目的会社（SPC）と、浄水場などの運転管理や保守点検、メンテナンスなどの実務に当たる運転維持管理会社（OM会社）を設立して事業に当たる。

この構造について「特定企業が実質的に経営を支配する。公的事業として不適切だ」との議員の指摘に、知事は「構成企業のノウハウや技術力を活用することで、安心・安全で効率的な事業運営が行われることを期待する」と答えた。

議員は「OM会社を設立することは、SPCによる事業終了後も県の水事業に影響力を持つことになる」と強調した。知事は「OM会社の設立は、地元での雇用創出が図られるほか、安定的な事業運営が期待される」と答弁。さらに「国内には多くの水処理会社があり、互いに競争している。このOM会社が県内の水関係事業に影響力を持つとは考えていない」と説明した。

議員は「これまでもさまざまな方策で県民への周知に努めてきた一方、いまだ説明不足との声も聞く。県民の理解を深めるための努力は今後も必要だ」と提言した。知事は「県民の安心・安全を最優先に制度設計を構築してきた。今後もさまざま手法で正確な情報提供と説明を尽くす」と述べた。

6月定例会の本会議

新型コロナ 仙台・大規模会場

開設時間延長 接種加速を

一般質問では、新型コロナウイルス対策の質疑でも活発な議論が展開された。

JR仙台駅東口の大規模接種会場「東北大学ワクチン接種センター」について、議員は「今後は64歳以下の接種が本格化する。センターのニーズの高まりが想定される中、開設時間を延長するなど、接種加速化に向けた運用をどう展開するのか」と質問した。知事は「日中に働いている人が利用しやすいよう、夜間の接種も東北大と進めている。多くの県民ができる限り接種を早く終えられるよう体制強化に努める」と答えた。

体外式膜型人工肺ECMO（エクモ）や人工呼吸器の導入支援に関し、議員は「機器を扱うことができる医療従事者の養成状況はどうか」と質問。知事は「本年度はエクモ5台、人工呼吸器34台の導入を補助する予定。県が主体となってエクモ研修の内容を応用的なものに高めて開催する」と答えた。

議員は「高齢者が入所する施設でのクラスターの抑え込みには、施設職員の頻回検査が奏功している。実施期間の延長と通所施設や訪問サービスでの実施を求める」と要望した。

これに対し、知事は「頻回検査の対象は6月から拡大しており、これまでに申請のあった約460施設・約1万8000人に検査を実施してきた。7月以降は高齢者や従事者のワクチン接種状況などを確認しながら、対応を検討する」と述べた。

議員は「コロナの感染が確認された場合の参考指針について、映像を使って周知すれば施設側の理解度が高まる」と提言。知事は「これまで感染拡大防止についての研修を対面やウェブなどで114回行ってきた。今後も一層の理解促進に向け、映像の活用を含めた周知方法を工夫する」と答えた。

次期産廃最終処分場の候補地

選定理由やリスク問う

2025年度に受け入れ限度に達する見通しの公的最終処分場「クリーンプラザみやぎ」（大和町）に替わり、県が大和町にある民間採石場を最有力候補地に選んだ次期産業廃棄物最終処分場を巡り、議員からは候補地選定の経緯や災害リスクへの質問があった。

住民説明状況や今後の進め方についての質問に、知事は、6月から町への説明や住民説明会を開催していることを説明し、「地元の理解と協力が大変重要であり、今後も丁寧な意見交換を重ね、不安や懸念の解消に向けて対策を講じる」と語った。

議員の「新たな最終処分場候補地周辺の水害状況を確認するべきだ」との質問に、環境生活部長は、関東・東北豪雨（2015年）や台風19号豪雨（19年）などで洪水被害があったことを述べた上で、「交通規制が早期に解除されたこともあり、最終処分場の整備・運営に大きな支障はないと判断した」と説明した。

候補地周辺の交通環境整備に関し、土木部長は「仙台北部中核工業団地への主要アクセス道は朝夕の渋滞が顕著。この地区の渋滞解消に向け取り組んでおり、本年度は県道仙台三本木線の4車線化の設計に着手する」と答えた。

南部地区職業教育拠点校

土木技術者育成を提言

教育関係の質疑で、議員は、柴田農林高と大河原商高が統合し、2023年4月に開校予定の南部地区職業教育拠点校について「土木技術者の育成を進めるべきだ」と提言。教育長は「土木に関する学びについても取り入れる方向で検討を進めている」と答えた。

「外国人の子どもたちへのきめ細かな学習支援を」と求めた議員に、教育長は「日本語の能力に応じ、通常の授業とは異なる『特別の教育課程』に基づいて指導している」と答えた。

議員は「学校に登校していない子どもたちの中には、学習機会が確保されていないケースもある」と指摘。教育長は昨年度の調査で、みやぎ子どもの心のケアハウスなどで学習支援を受けていない小中学生が641人いたことを説明し、「現状をさらに丁寧に把握し、寄り添った支援を働き掛けたい」と述べた。

住民悲鳴／根拠ない情報拡散

処理水放出 反対宣言求める

知事「国や東電に要望継続」

福島第1原発で発生した処理水を2年程度後をめどに海洋放出する政府決定を巡り、県議会は過去に2回、反対する意見書を全会一致で可決しており、議員からは厳しい意見があった。

「処理水の海洋放出には、悲鳴ともとれる反対の声がある。県は海洋放出に反対の宣言をするべきだ」と提言。知事は、県が「処理水の取扱いに関する宮城県連携会議」を設置したことに触れ、「今後も連携会議を開催し、継続的に国や東京電力へ要望していく」と答えた。

議員の「科学的根拠のない情報が拡散する。水産業をはじめとする事業者の不安解消に向けた対応をとることが必要だ」と、風評被害対策を徹底すべきだとの訴えに対し、知事は「政府方針の発表以降、既に風評が発生しているとの声もある。関係省庁の副大臣や政務官には、生産から消費までの各段階で振興策を示すことを求めている」と答えた。

議員は「海洋放出以外の方策を検討するべきだ」と強調。知事は「現段階で国民の理解が十分に得られていると言えない。政府方針の発表を受け、海洋放出以外の処分方法も継続して検討するよう求めた」と答えた。

議決した議案等

６月定例会

意見書＜4件＞

○学校教育におけるデジタル化の適切な推進を求める意見書
○地方財政の充実・強化を求める意見書　ほか

可決・同意した知事提出議案＜32件＞

○令和３年度宮城県一般会計補正予算
○令和３年度宮城県流域下水道事業会計補正予算
○附属機関の構成員等の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
○宮城県県税条例等の一部を改正する条例
○行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例
○町の境界変更について（色麻町と加美町）　ほか

不採択となった請願＜1件＞

○「みやぎ型管理運営方式」の導入に係る「公共施設等運営権の設定」議案（議第171号議案）及び関係する条例改正議案（議第157号議案）は第379回県議会では採決せず、すべての関係市町村での説明会開催とパブリックコメントの取り直しを求めることについて

５月臨時会

可決・承認した知事提出議案＜5件＞

○令和３年度宮城県一般会計補正予算
○専決処分の承認を求めることについて（宮城県県税条例の一部を改正する条例）
○専決処分の承認を求めることについて（令和２年度宮城県一般会計補正予算）　ほか

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

質問者と主な質問項目

○一般質問（16人）

▽**遠藤伸幸**（公明）新型コロナウイルス感染症対策について、少子化対策と若者支援について　ほか▽**中山耕一**（自民）水道事業みやぎ型管理運営方式について、産業廃棄物最終処分場について▽**枡和也**（県民の声）脱原発・今後のエネルギー政策について、みやぎ型管理運営方式について▽**仁田和廣**（自民）福島原発の処理水海洋放出について、障害者差別解消法について　ほか

▽**岸田清実**（社フォ）県営水道3事業運営権売却問題について、仙南圏域の地域医療構想について▽**わたなべ拓**（自民）みやぎ型管理運営方式について、新型コロナ対策について　ほか▽**遠藤隼人**（自民）県民を守る警察行政について、子供たちの安全について　ほか▽**三浦ななみ**（県民の声）健康寿命を延ばすための運動について、より開かれた教育行政について　ほか

▽**八島利美**（自民）令和元年東日本台風被害復旧復興推進を、大規模林地開発の適正指導について　ほか▽**天下みゆき**（共産）水道民営化で「命の水」は守れるのか、保健所支所化・3病院統合は中止を　ほか▽**伊藤吉浩**（自民）農業振興について、林業振興について　ほか▽**中島源陽**（自民）減少時代の農業振興、誰もが安心できる学びの環境づくり　ほか

▽**石田一也**（県民の声）高齢者施設等に係る現状と課題について、人口減少局面の自治体運営について　ほか▽**高橋宗也**（自民）復興の課題と持続的なまちづくり、人口減少社会と総合計画　ほか▽**三浦一敏**（共産）上工下水「みやぎ型管理方式」について、コロナ対応と東京五輪問題について　ほか▽**藤倉知格**（自民）原発事故による処理水海洋放出について、新たな産業廃棄物最終処分場　ほか

〈会派名略称〉
自由民主党・県民会議＝（自民）、みやぎ県民の声＝（県民の声）、日本共産党宮城県会議員団＝（共産）、公明党県議団＝（公明）、社民フォーラム県議団＝（社フォ）、無所属の会＝（無所属の会）、21世紀クラブ＝（21世紀ク）、緑風会＝（緑風会）

予算特別委員会

６月30日に総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、２月に発生した福島県沖を震源とする地震等による被害に係る災害復旧費など、速やかな対応が求められる施策について編成した令和３年度補正予算を可決した。

６月30日質疑者　庄田圭佑（自民）、小畑きみ子（県民の声）、大内真理（共産）、横山のぼる（公明）、熊谷義彦（社フォ）菅間進（無所属の会）、吉川寛康（21世紀ク）、高橋啓（緑風会）

常任委員会

今定例会での主な審査議案は次のとおり。

○総務企画委員会
行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例など11議案

○環境福祉委員会
児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例など２議案

○経済商工観光委員会
財産の取得について（エックス線光電子分光装置一式）

○農林水産委員会
工事請負変更契約の締結について（塩釜漁港防波堤改築工事）

○建設企業委員会
工事請負契約の締結について（一般県道釜谷大須雄勝線尾崎道路災害復旧工事）９議案及び請願１件

○文教警察委員会
高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく信号機等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例など３議案

大震災復興調査特別委員会

大震災復興調査特別委員会は、４月22日に委員会を開催し、東京電力ホールディングス株式会社から、福島第一原子力発電所事故に起因する損害賠償の概要と進捗状況及び今後の方針等について及び福島第一原子力発電所の廃炉及び汚染水の現状と対策について説明を受けた。

また、５月25日の委員会では、東北大学災害科学国際研究所から、東日本大震災の伝承の現状及び課題について、宮城県漁業協同組合から、福島第一原子力発電所における多核種除去設備等処理水の処分に関する風評被害等の現状及び課題について説明を受けた＝**写真**＝。

議長記者会見

６月定例会閉会日の７月５日、石川光次郎議長が記者会見を行った。

６月定例会を振り返って石川議長は「今定例会では、上工下水道を一体的に管理運営する『みやぎ型管理運営方式』関連議案について多くの議員が取り上げたほか、新型コロナウイルス感染症対策、多核種除去設備等処理水の取扱い、産業廃棄物の最終処分場などについても取り上げられるなど、活発な議論が行われたものと感じている」と語った。

石川光次郎議長

さらに「福島県沖を震源とする地震等による被害に係る災害復旧費など、速やかな対応が求められる施策について編成した令和３年度一般会計補正予算を可決した。また、議員定数や選挙区等の課題について検討を行うため、『議員定数・選挙区等検討委員会』を設置し、１回目の会議を行った」と述べた。

県議会からのお知らせ

●意見交換会参加者募集!!
「宮城県の子育て環境の現状と課題について」をテーマとした「子育て世代と宮城県議会議員との意見交換会」を開催します。あなたの「想い」を県議会に伝えてみませんか？
・開催日時／令和３年10月14日（木）
　午前10時～正午
詳細はホームページをご覧下さい。

●ラウンジコンサート
◇次回の開催予定
・開催日時／９月定例会開会日
　午後０時15分～45分
・場所／県議会庁舎１階ラウンジ
・出演／山下　進（龍笛の演奏）
◇コンサート出演者募集中!!
・締め切り／８月20日（金）
詳細はホームページをご覧下さい。

●傍聴のご案内
傍聴される際は、新型コロナウイルスの感染防止にご配慮願います。詳細については、022(211) 3571（総務課）までお問い合わせ下さい。

みやぎ県議会だより　検索

●ウェブ版みやぎ県議会だより　質問内容等の詳細を掲載するとともに、文字ばかりでなく、イラストや写真、余白等を生かした紙面構成のウェブ版を発行しています。

宮城県議会　検索

●ホームページのご案内
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

宮城県議会中継　検索

●議会中継のご案内　スマートフォンやタブレット端末で議会中継をご覧いただけます。